

第8次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組状況（No.4）

重点取組	在宅医療の推進
目標	地域の関係機関・団体が連携を強化し、誰もが安心して住み慣れた地域で在宅療養できる支援体制を構築します。
実施主体	市町、医師会、医療機関、地域包括支援センター、保健所等

市町

【鴻巣市】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	在宅医療・介護連携推進会議 3回 ワーキンググループ5回 多職種研修、交流会46名 在宅医療・在宅介護ガイドブック作成 連携ノート、入退院支援ルールの啓発	関係機関の連携強化を図るために、周知を図っているが、認知度が上がらず、連携が進んでいない。また、入退院支援ルール等も効果的に活用されていない。	在宅医療・介護連携推進会議 3回 ワーキンググループ4回 多職種研修、交流会 在宅医療・在宅介護ガイドブック作成 連携ノート、入退院支援ルールの啓発
② 在宅歯科保健医療体制の充実	地域在宅医療推進窓口のご案内の配布 「訪問歯科診療対応医療機関」の情報を在宅医療・在宅介護ガイドブックやホームページに掲載	認知度が上がらない。	地域在宅医療推進窓口のご案内。 「訪問歯科診療対応医療機関」の情報を在宅医療・在宅介護ガイドブックやホームページに掲載。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	鴻巣地区在宅医療連携センターによる相談（令和6年1月現在 実績84件） ACP普及啓発（通いの場での出前講座75名・市民講座167名）チラシ配布 エンディングノート、終活ペリ帳配布 広報掲載（在宅医療等）	一層の周知。	介護事業所、医療機関アンケートを基に、周知活動を行う。 ACP普及活動（出前講座、市民講座、多職種研修）エンディングノート等 連携センター（相談先）の周知活動
④ 人材育成	多職種研修、交流会46名	参加者が少なく、交流する機会も少ない。	アンケート結果、在宅医療・介護連携推進会議の委員の意見等により、研修内容を決定する。また、交流会を活発に行うため、座談会形式で行う。
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	鴻巣北本自立支援協議会地域支援部会で、災害支援プロジェクト会議を5回開催 対象者の個別避難計画を作成する見込	震災や災害発生時に即座に福祉避難所を開設する体制の整備、医療的依存度の高い方に必要な電源の確保や感染症対策の整備を検討。	引き続き災害支援プロジェクト会議を開催し、対象者の個別避難計画の検討や、避難訓練の開催を計画する予定
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備	（福祉課）複雑化・複合化した課題に対応する包括的な支援体制を整備し、様々な相談に対し関係支援機関と連携し支援を実施。 R5年度実績アウトリーチ1,754件多機関協働745件	（福祉課）身寄りのない高齢者等が増加するであろう状況を踏まえ、近隣自治体及び医療機関等との情報共有、相互理解の推進が必要	（福祉課）鴻巣市、桶川市、北本市、上尾市、伊奈町と医療機関による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」開催予定（R7年度伊奈町主催）

【上尾市】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	(1) 在宅介護連携支援センターを中心に、市内医療機関、包括、ケアマネの会あけおで構成されている医療介護連携会議（アッピー★医療と介護のプロジェクト）を毎月1回（第4木曜日）開催。多職種連携を強化するため、7月19日に医療・介護従事者を対象とした研修等（医師の講義及びグループワーク）を開催した。 (2) 令和4年度末に上記連携会議メンバーを中心に策定した入退院支援ルールの普及啓発のための方策検討、及び見直しを実施した。 (3) 地域の連携を強化するとともに、ケアマネジャーが多様な専門職の助言を受けながらよりよい支援について検討する「自立支援型地域ケア会議」を地域包括支援センターで11回開催した。	(1) メンバーの所属・職種に偏りがあり、障害者福祉の視点も含めて拡大していく必要性がある。 (3) 地域によっては、参加者が少ない地区も見受けられる。参加するメリット（連携強化、適切な助言等）が感じられる会議となるような工夫も必要である。	(1) 医療介護連携会議（アッピー★医療と介護のプロジェクト）は引き続き毎月1回（第4木曜日）開催予定。 (3) R7年7月25日に医療・介護者向けの研修を実施予定。（テーマについては検討中）
② 在宅歯科保健医療体制の充実	成人歯科健康診査において、外出困難な方が受診できるよう、訪問歯科の枠組みを確保した。在宅歯科医療の相談窓口について、市民が情報を得やすいよう、市内全戸配布の健康カレンダーに掲載した。	成人歯科健康診査における訪問歯科の利用は特になかった。	引き続き、成人歯科健康診査における訪問歯科の枠組みを確保していく。在宅歯科医療の相談窓口についても、引き続き、健康カレンダーに掲載していく。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	(1) 在宅医療連携拠点（上尾市医師会在宅医療連携支援センター）が市民、医療・介護関係者への在宅医療に関する情報提供や相談・支援を実施。相談件数：220件（見込み） (2) 高齢者が自分の情報を家族や支援者と情報共有するための手帳（わたしノート）を作成し、市民に配布。配布数：750冊（見込み）	(1) 在宅医療連携拠点では継続した相談・支援が継続できていたため、大きな課題はない。 (2) わたしノートの周知・配布については、無関心層への働きかけや支援者による活用が課題になっている	(1) 在宅医療に関する情報提供や相談・支援を継続。 (2) 継続して「わたしノート」を市民周知する。 (3) 在宅診療マップを作製し、医療機関、地域包括支援センター公共施設等に配布。配布予定数：4,000枚
④ 人材育成	(1) 多職種連携を強化するため、7月19日に医療・介護従事者を対象とした研修等（グループワーク）を開催した。 (2) 専門職との連携を強化し、ケアマネジャー等の資質向上を目指すため、理学療法士、薬剤師、管理栄養士など多様な専門職の助言を受けながらケアプランを検討する「自立支援型地域ケア会議」を開催した。	(1) 研修会への参加について、職種ごとに偏りがある。 (2) 令和3年度からは各地域包括支援センターで開催。年13回で開催予定。	(1) R7年7月25日に医療・介護者向けの研修を実施予定。（テーマについては検討中）
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	上尾・桶川・伊奈自立支援協議会の医ケア部会において、災害対策にかかる勉強会を開催した。	関係課が複数課にまたがることから庁内の連携や情報共有が困難である。医療的ケア児庁内連携会議として、防災担当課にどう協力を仰いでいくかが課題。	鴻巣保健所圏域での情報交換の場を検討する。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備	鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町及び上尾市の主催による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」へ参加した。（R6.11.14実施）	「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」にて、各自治体で抱えている問題点について意見交換を行った。	昨年度に引き続き、鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町及び上尾市の主催による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」へ参加予定。

【桶川市】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	<p>【北足立地区（鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町）入退院支援ルールについての会議】</p> <p>【地域包括ケア推進協議会の開催】 ・在宅医療・介護連携推進事業について、医師、歯科医師、薬剤師、介護事業所、地域包括支援センター、区長、民生委員等が委員となった会議において、情報共有、必要事項の協議等を行っている。 本会：年3回、部会：年4回開催した。 高齢介護課が主管課だが、本会には、保険年金課、健康増進課職員にも参加してもらっている。</p> <p>【医療的ケア児等支援協議会の開催】 ・令和6年7月31日開催。埼玉県医療的ケア児等支援センター、特別支援学校、保健所、訪問看護ステーション、基幹相談支援センター、市の保健、医療、福祉、保育、教育等の担当課が参加。 【上尾・桶川・伊奈地域自立支援協議会】 ・医療的ケア児等支援部会：年4回開催。</p>	<p>【地域包括ケア推進協議会の開催】 ・会議については、報告事項が主となってしまっている。</p> <p>・医療的ケア児コーディネーターの役割、医療的ケア児とその家族への関わり方等、コーディネーターとしての活動方法の課題がある。</p>	<p>【入退院支援ルール】 ・北足立地区入退院支援ルールの運用状況について関係機関へのアンケート調査を実施 ・入退院支援ルールの周知</p> <p>【地域包括ケア推進協議会】 ・本会：年3回、部会：年4回開催予定</p> <p>【医療的ケア児等支援協議会】 ・年1回</p>
② 在宅歯科保健医療体制の充実	<p>【必要に応じて、県在宅歯科医療推進窓口の案内を実施】</p> <p>【桶川市地域資源マップ（在宅療養マップ）を作成】 ・歯科医院の情報を掲載。地域包括支援センターや歯科医院、市民へ配布した。</p>	<p>・在宅歯科対応の医療機関を知らない市民や関係機関が多いことから、地域資源マップを活用し、継続して周知していく必要がある。</p>	<p>【桶川市地域資源マップ（在宅療養マップ）を作成】 ・情報更新（年1回実施している）</p>
③ 必要な情報の提供、相談・支援	<p>【在宅医療連携センター】 ・在宅医療と介護を一体的に提供する体制作りを担う機関として「桶川北本伊奈地区在宅医療連携センター」を設置。退院支援や相談対応などを行った。 R7.1月末時点相談件数：延60件</p> <p>【ACPの普及・啓発】 ・市民講座 今年度企画したが、悪天候のため、中止した。</p>	<p>【在宅医療連携センター】 ・相談件数は年々増えてきているが、周知が行き届いていない現状もあるので、広報、介護予防教室等市民が集まる場での周知に努めていく必要がある。</p>	<p>【在宅医療連携センター】 ・相談先としての周知</p> <p>【ACPの普及・啓発】 ・市民講座の開催</p>
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	<p>・鴻巣保健所主催の医療依存度の高い在宅療養者（児）支援者研修会に参加（在宅酸素編：令和6年9月5日、在宅人工呼吸器編：令和6年11月28日） ・埼玉県主催の医療的ケア児災害対策研修に参加（令和7年2月17日）</p>	<p>・個別支援計画の作成、支援体制整備が課題。</p>	<p>・関係機関と連携し、災害時の支援体制の構築に向けた検討を行う。</p>
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備	<p>・病院や保健所、関係機関と連携しながら対応した。また、身寄りがなく、生活に不安のある高齢者には、早めに成年後見制度を活用するなどの周知を行った。</p>		<p>・関係機関と連携し必要なサービスが提供できる体制の継続、充実を図る。</p>

【北本市】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	<p>自立支援協議会こども部会医療的ケア児のための協議の場を3回開催。 北本市在宅医療・介護連携推進協議会 3回実施。</p>	<p>地域の保健、医療、福祉関係者等の連携体制の構築 医療と介護関係者との顔の見える関係づくりが必要。</p>	<p>自立支援協議会こども部会医療的ケア児のための協議の場を3回開催予定。 北本市在宅医療・介護連携推進協議会 年3回実施。 多職種研修会 年1回実施。</p>
② 在宅歯科保健医療体制の充実	<p>北本市在宅医療・介護連携推進協議会の中で、地域での歯科についての課題について共有し事業化に向けて検討。</p>	<p>歯科医師と介護関係者との情報提供、連携体制の構築が課題。</p>	<p>オーラルフレイル市民講座 年1回実施。</p>
③ 必要な情報の提供、相談・支援	<p>桶川北本伊奈地区在宅医療連携センターによる市民、医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの在宅医療・介護に関する相談の実施。</p>	<p>近隣市である鴻巣市との連携強化。</p>	<p>桶川北本伊奈地区在宅医療連携センターによる市民、医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの在宅医療・介護に関する相談の実施。</p>
④ 人材育成	<p>北本市介護支援専門員・地域包括支援センター職員精神保健福祉合同研修会 1回実施。</p>	<p>精神保健福祉に関する相談が増加し、対応に不安を感じている専門職が多い。介護専門職と地域包括支援センターとの顔の見える関係づくりが課題。</p>	<p>北本市介護支援専門員・地域包括支援センター職員精神保健福祉合同研修会 年1回実施。</p>
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	<p>「人工呼吸器用自家発電機・外部バッテリー」を日常生活用具給付等事業の対象品目としており、給付を実施。</p>	<p>医療的ケア児者の個別支援計画の作成。</p>	<p>医療的ケア児者の個別避難計画の作成を進める。</p>
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備	<p>身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会 1回実施</p>	<p>在宅医療連携推進事業担当者の連絡会議で上尾市、鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町と各自治体で作成しているエンディングノートの内容について情報交換を含め協議していくこととなった。</p>	<p>身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会 年1回開催。</p>

【伊奈町】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	・町・医療機関等と定期的な会合を実施 ・多職種連携研修会		・町・医療機関等と定期的な会合を実施 ・多職種連携研修会
② 在宅歯科保健医療体制の充実	特になし（民間医療機関が実施）	在宅診療可能な医療機関との連携	特になし（民間医療機関が実施）
③ 必要な情報の提供、相談・支援	在宅医療連携センターへ委託 町と関係機関で連携し、情報を共有		在宅医療連携センターへ委託 町と関係機関で連携し、情報を共有
④ 人材育成	研修・講習の参加		研修・講習への参加
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	特になし	実際に災害が発生した際に、医療依存度の高い人に対し、どのような支援を行うか町として検討する必要がある。	未定
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備	町内の高齢者等を見守る「お年寄り世帯見守りたい」ボランティアの運用 ACP普及講座4回開催（うち1回は3月開催予定） 3回参加者 95名	たい員募集の周知方法 ACPの町民の認知度は低い。親族や関係者と話し合いを持っている方が少ない。	前年度に引き続き、たい員数の更なる増加を図るため、事業の周知を徹底する。 入退院支援ルール（R4.5策定）に則り、連携体制を図る。ACPの普及・啓発に努める。 4市1町にて連携会議を開催予定

医師会

【北足立郡市医師会】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	多職種連携し認知症ケアネット懇話会を開催	連携強化のためには頻度を高くしなければいけない	連携強化のため「認知症」「ACP」等、要介護関連の多職種連携の研修会を開催予定
③ 必要な情報の提供、相談・支援	・在宅医療連携センター(拠点)の相談の支援 ・ACP普及啓発講師人材バンク制度により講演会開催(年5回)		在宅医療連携センター(拠点)の相談・支援の強化
④ 人材育成	人生の最終段階における医療・ケアを担う人材育成研修会を開催した	多職種向けの「ACP研修会」を行い理解を更に深めている	昨年度まで研修に参加できていない職種の研修会への参加促進 研修会の増加
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	通院・在宅患者に対し、主治医の指示により医療機器等の取扱いや電源確保を個々に対応している。	個々に蓄電池等の充電量や運用など住所地における災害時の電源供給先について平時に確認する必要がある。	医療機関として災害時の対応について医師会内で研修会等を通じて情報共有を実施する。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備	昨年度より運用している「入退院支援ルール」を基に円滑なサービス提供に努めている	まだ高齢者の掘り起こしは十分できていない 高齢者自身への介護・福祉の啓蒙が必要と考える	・外来受診時に医療機関から行政への情報提供を更に行う必要がある ・多職種連携を強化しサービスに結びつける ・顔の見える関係が大切であるため研修会を増やす予定

【上尾市医師会】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	・上尾市、病院、在宅医療機関、歯科医療機関、薬局、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、介護老人保健施設、在宅医療連携支援センター、医師会の医療・介護・事務従事者が構成する委員により、在宅緩和ケア地域連携会議(委員数28人)を開催。R6.5.27、7.29、10.28に開催し、緩和ケアに関する連携、入退院支援ルール、若年がん患者在宅療養生活支援事業等について検討。 ・上尾市、上尾中央総合病院、上尾中央第二病院、藤村病院、ケアマネの会、医師会の共催により、「アッピー☆医療と介護のプロジェクト 退院後の生活を地域で支えるために多職種でできること～心不全の事例を通して～」の講演会をR6.7.19開催。「アッピー☆医療と介護のプロジェクト もしもあなたや家族が認知症と診断されたら～当事者、支援者の立場から～」の講演会をR6.12.7開催。 ・障害福祉サービスに関する研修会 R7.2.27開催予定	・在宅医療連携支援センターが開催する「アッピー☆医療と介護のプロジェクト」と「入退院支援ルールワーキンググループ」の会議に障害福祉関係機関が入っていない。 ・入退院支援ルールの活用促進に向けた内容の見直しが必要	・「アッピー☆医療と介護のプロジェクト」(毎月開催)と「入退院支援ルールワーキンググループ」(年3回開催)の会議に障害福祉関係者を含め、関係機関・団体の多職種の連携を強化して行く。 ・入退院支援ルールの改定 ・在宅緩和ケア地域連携会議開催予定(年2回開催) ・障害福祉サービスに関する研修会を開催予定(年1回開催)

<p>③ 必要な情報の提供、相談・支援</p>	<p>・在宅医療連携支援センター(拠点)が、市民・医療・介護関係者への在宅医療に関する情報提供や相談・支援を実施。相談件数202件 (R6. 4～R7. 1月末) ・ACP普及啓発講師人材バンク登録制度登録医師等の講師によるACP普及啓発研修会を開催。開催日・(参加者数): R6. 6. 7(28人)、R6. 8. 5(27人)、R6. 10. 30(31人)、R6. 11. 20(12人)、R6. 11. 26(33人) 開催予定日: R7. 3. 5、R7. 3. 7 ・上尾市におけるMCS登録者392人、うち「上尾医師会ねっと」グループ(医師)参加者62人、「上尾地域MCS」グループ(多職種)参加者182人、「患者グループ」99件 (R7. 1月末)</p>	<p>・医師会ホームページを活用し、在宅医療連携支援センターからの案内を市民向けと専門職向けに分けて情報提供する必要がある。 ・MCSの登録者は 増えているものの、埼玉県内30拠点中21位と少ない状況。各職種の活動の中でMCSが活用できる取り組みがあるとよい。</p>	<p>医師会ホームページリニューアルに合わせ専門職に向けたサイトを作成し、専門職(医療・介護・福祉)向けの情報提供を充実させていく。 ・地域住民向けACP普及啓発研修会を7回開催予定 ・MCS周知は市内の職能団体にも働きかけていく。</p>
-------------------------	---	---	--

歯科医師会

【北足立歯科医師会】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績(見込みを含む)	課題・問題点	
<p>① 関係機関・団体の連携強化</p>	<p>在宅拠点事業担当歯科衛生士による合同連絡会へ参加</p>	<p>在宅拠点事業担当歯科衛生士による合同連絡会へ参加</p>	<p>各関係機関・団体との今まで以上の連携強化を目指す</p>
<p>② 在宅歯科保健医療体制の充実</p>	<p>在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科医師の派遣 北足立窓口 23件 上尾窓口 19件</p>	<p>在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科医師の派遣</p>	<p>今まで以上の在宅歯科医療推進体制の充実を目指す</p>
<p>③ 必要な情報の提供、相談・支援</p>	<p>在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科等に関する相談 北足立窓口 11件 上尾窓口 11件</p>	<p>在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科等に関する相談</p>	<p>訪問歯科等に関する相談数の増加を目指す</p>

薬剤師会

【鴻巣薬剤師会】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績(見込みを含む)	課題・問題点	
<p>① 関係機関・団体の連携強化</p>	<p>令和6年度鴻巣市在宅医療・介護推進協議会に参加</p>	<p>団体間の連携が、会員薬局全てへの周知が難しい</p>	<p>令和7年度在宅医療・介護推進協議会に参加</p>
<p>③ 必要な情報の提供、相談・支援</p>	<p>鴻巣市で行う中央型自立支援ケア会議(年10回)、5包括支援センターで行う包括型自立支援ケア会議(年2回)に薬剤師アドバイザーを派遣</p>	<p>ケア会議による顔の見える者同志の情報交換は進んでいるが、連携の前例のない薬局等がスムーズに行えるかが不安</p>	<p>鴻巣市で行う中央型自立支援ケア会議(年10回)、5包括支援センターで行う包括型自立支援ケア会議(年2回)に薬剤師アドバイザーを派遣</p>

【上尾伊奈地域薬剤師会】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績(見込みを含む)	課題・問題点	
<p>① 関係機関・団体の連携強化</p>	<p>①行政の関連会議へ委員として参画、②保健所、行政等の在宅医療、連携体制の構築に係る研修・講習会への参加、③社協による医療介護福祉をつなぐ会への企画・参加、約50名の参加</p>	<p>左記③では、参加者から相互理解の機会になるので数回の開催要望が多い。手間と経費面で複数回開催は困難。</p>	<p>令和6年度と同じく、他職種との業務内容の相互理解などで「顔の見える関係、連携強化」を図る。</p>
<p>③ 必要な情報の提供、相談・支援</p>	<p>①かかりつけ薬局・薬剤師、健康サポート薬局として個々に継続実施、②地域薬剤師会HPや行政発行誌に(在宅訪問実施薬局、在宅業務に係る薬局の機能等)を掲載して地域住民へ情報提供</p>	<p>平時から地域住民への①及び②の認知を広げるための活動が必要</p>	<p>①令和6年度と同じ、②かかりつけ薬局・薬剤師及び健康サポート薬局への認定拡充のために薬剤師に対する啓蒙活動。</p>

【桶川市薬剤師会】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績(見込みを含む)	課題・問題点	
<p>① 関係機関・団体の連携強化</p>	<p>市内5か所の地域包括ケア会議に参加しました。</p>		<p>地域包括ケア会議に参加</p>
<p>③ 必要な情報の提供、相談・支援</p>	<p>各薬局で随時情報提供、相談を実施しました。</p>		<p>各薬局で随時情報の提供、相談を実施</p>

【北本市薬剤師会】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績(見込みを含む)	課題・問題点	
<p>① 関係機関・団体の連携強化</p>	<p>各医療機関と連携強化を図りたかったが未実施</p>	<p>各関係機関との連携</p>	<p>各医療機関と連携強化を図る。</p>

消防本部

【埼玉県央広域消防本部】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	<ul style="list-style-type: none"> ・関係市との情報共有等の連携 ・要援護高齢者支援ネットワークによる連携 ・医療支援情報等について関係市との共有 ・頻回要請者について各隊の情報共有 	在宅療養者や頻回要請者からの救急要請に対応するため、関係機関との更なる連携強化が必要となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携強化 ・頻回要請者等への対応として、各救急隊等の情報共有の徹底

【上尾市消防本部】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	<ul style="list-style-type: none"> ・特定疾患を持つ家族などから提供された情報を共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有がない特定疾患患者からの救急要請に対しては、病態の把握を含めた活動時間の延長が懸念されます。 	引き続き、6年度の取り組みを継続するとともに、関係各署と情報を共有し、円滑な業務が出来るよう取り組んでいきます。

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和6年度		令和7年度取組計画
	取組内容・実績（見込みを含む）	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・難病対策地域協議会の実施 年1回 協議会委員 19名 ・北足立郡市医師会主催R7年1月9日在宅医療研修会参加 ・医療的ケア児協議の場への参加 6回 ・鴻巣保健所管内在宅医療研修会の開催（医療機関・福祉施設等から約80名参加） 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や研修会受講により情報把握や課題の共有を図っている状況。参加者全体で考え、所属の取組に活かしていけるような仕組みづくりが課題。円滑に連携を図る為に情報共有ツールとしてMCSの活用が望ましい。 ・医療的ケア児等支援センターが開設され、災害時も含めた支援のレベルアップが望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・難病対策地域協議会の開催（任期満了に伴う協議会委員改選予定） ・在宅医療連携関連研修会への参加 ・医療的ケア児協議の場への参加 ・鴻巣保健所管内在宅医療研修会の開催
② 在宅歯科保健医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所歯科保健推進会議 9月26日開催 31名参加 ・口腔ケア研修会 11月28日開催 42名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者層の口腔内健康格差への対応が生じている。 ・健康長寿や全身の健康維持に、口腔ケアが重要である旨の認知向上が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ①保健所歯科保健推進会議開催予定 ②口腔ケア研修会1回開催予定
③ 必要な情報の提供、相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①個別相談（通年） ・難病 訪問 22名 面接 71名 電話 313名 ②難病患者へ療養状況を伺うアンケートの実施 ③県総合リハビリテーションセンター主催リハビリ訓練体験会協力 患者・家族 36名参加 ④ハートン病者会企画医療講演会の共催 患者・家族 54名参加 ⑤神経難病患者向け運動療法医療講演会の開催 患者・家族 32名参加 ①個別相談（通年） ・小慢 訪問:12人 面接:63件 電話:226人 ②小慢:療養状況を伺うアンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養患者は増加傾向にあり、患者・家族の高齢化に伴い、介護負担感が高まっている。単身や認知症の高齢者等支援制度等の申請が困難なケースもあり関係機関・多職種での連携が必要。 ・在宅医療的ケア児は増加している。介護に負担感を持つ家族は多く、利用可能な支援制度等の拡充が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した相談・支援や情報提供を行う等、円滑かつ効果的な方法や工夫を検討。 ①個別相談（通年） ・小慢 訪問:15人 面接:70件 電話:230人 ②小慢:療養状況を伺うアンケートの実施
④ 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・医療依存度の高い在宅療養者（児）支援者研修会 対象者:ケアマネージャー、訪問看護師、保健師等 9月5日 在宅酸素編 80名参加 11月28日 在宅人工呼吸器編 58名参加 ・長期療養児教室「埼玉県医療的ケア児等支援センターにおける支援の実践」 11月6日開催 19人参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会受講を通じて情報把握や課題の共有を図っている状況。参加者自身が所属の取組に活かしていけるような工夫が課題。 ・研修会参加者のスキルアップのみでなく各所属内の活動に活かすとともに、随時最新情報への更新、継続性により地域の支援者全体の資質の向上を図ることが望ましい。 ・医療的ケア児等コーディネーターの育成がなされており、地域での連携が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療依存度の高い在宅療養患者支援者向けの研修会の開催 ・長期療養児教室の開催
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	<ul style="list-style-type: none"> ①災害時医療機器使用者リスト作成・更新 難病:人工呼吸器装着39名 酸素療法利用者:66名 ②在宅医療機器使用者のマッピング・更新 難病:人工呼吸器装着 25名 酸素療法利用者 61名 ③管内市町長からの求めに応じて在宅医療機器使用者の情報提供 ④医療依存度の高い在宅療養者（児）支援者研修会 9月5日 在宅酸素編 80名参加 11月28日 在宅人工呼吸器編 58名参加 ⑤自助力を高める為の参考ちらし「災害時に備えて準備をしていますか？」の更新 ①災害時医療機器使用者リスト作成・更新 小慢:人工呼吸器装着21名 酸素療法利用者:15名 ②在宅医療機器使用者のマッピング・更新 小慢:人工呼吸器装着17名 酸素療法利用者:15名 ③管内市町長からの求めに応じて在宅医療機器使用者の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町へ提供した情報の活用状況や個別支援計画策定状況についての把握が課題。 ・最新情報の把握 ・患者家族の自助力を高める為、研修会等を通じて日ごろ関わる支援者全体の資質の向上を図ることが望ましい。 ・市町へ提供した情報の活用状況や個別支援計画策定状況についての把握が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ①災害時医療機器使用者リスト作成・更新 ②在宅医療機器使用者のマッピング・更新 ③管内市町長からの求めに応じて在宅医療機器使用者の情報提供 ④医療依存度の高い在宅療養患者の支援者向け研修会開催 ⑤災害時支援に関わる最新情報の収集 ①災害時医療機器使用者リスト作成・更新 ②在宅医療機器使用者のマッピング・更新 ③管内市町長からの求めに応じて在宅医療機器使用者の情報提供
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○4市1町による『身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会』に出席し、意見交換、情報共有（R6.11.14） ○蓮田市、白岡市及び宮代町在宅医療・介護関係者研修会において、身寄りのない高齢者等への支援について講演を実施（R6.11.22） 	管内市町の関係課及び医療機関（病院）との連携をさらに確保し、身寄りのない方に対する医療、保健、福祉サービスのシームレスな提供体制を形成する。また、この取組を他の地域にも普及啓発していく。	4市1町による『身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会』への参加と積極的な情報交換・共有をしていく。また、機会をとらえて他の地域にも情報提供していく。